

半導体漫遊記

④5

湯之上隆

残暑もまだ厳しい9月11~14日、愛媛大学にて応用物理学会が開催された。私は学会2日目に、特別シンポジウム『固体エレクトロニクスの挑戦』を聴講した。固体エレクトロニクスとは、シリコンに代表される各種半導体を使ったデバイスなどを意味する。

長くなりますから英語で話します(笑)と、言われ、唯一英語で講演された(西先生は東芝レジャーレットパツ特に企業の方の発表)。その一方、日本語で講演された方、大変分かりにくいものが多かった。一方、ギリシャ語の方の発表は、字が小さく読めなかった。一方、ギリシャ語の重要な箇所を「赤字で大きく示して」たり、「赤字で大きく示して」たり、英語の細部が分からなかった。その結果、英語の細部が分からなかった。その結果、英語の細部が分からなかった。

英語が苦手でも理解できた

西先生の講演の極意

そのシンポジウムで私は、驚きの体験をした! 講演者は7人全員が日本人(表)。大学教授が5人、民間企業のトップが2人。講演者の中で、米スタンフォード大学の西義雄先生が、「日本語で話すと

カードを経て現職)。そのほかの6人は全て日本語の講演。講演スライドの言語は、西先生はもちろん英語。そのほか、一人が英語で、残り4人は日本語とギリシャ語の方を比較してみた。

それは、英語のスライドを使って英語で講演された西先生のお話、最もよく理解できたことだ(内容も面白い)。その一方、日本語で講演された方、重要な箇所を「赤字で大きく示して」たり、「赤字で大きく示して」たり、英語の細部が分からなかった。その結果、英語の細部が分からなかった。

①西先生は常に聴衆の方に顔を向けて話をスライドのどこを強調

英語の苦手な私が、一体何に驚いたのか? の方に顔を向けて話をスライドのどこを強調

ったため、話の途中で理解する努力を放棄してしまった。先生のような講演ができるように努力したい。少なくともギリシャ語にならないよう気を付けたい。(半導体技術者・社会学者)

私も人前で講演することが多い(今年も20回を超えた)。西

No.	講演者	所属	講演言語	スライド
1	西義雄	スタンフォード大学	英語	英語
2	高須秀視	ローム(株)	日本語	英語
3	大見忠弘	東北大学	日本語	日本語
4	葛原正明	福井大学	日本語	日本語
5	大森達夫	三菱電機(株)	日本語	日本語
6	野田進	京都大学	日本語	英語
7	細野秀雄	東京工業大学	日本語	日本語

表 応用物理学会の特別シンポジウム「固体エレクトロニクスの挑戦」講演者、所属、講演言語とスライドの言語